



士別ロータリークラブ会報

創立1960.3.24 RI第2500地区

vol. 32 No. 2257

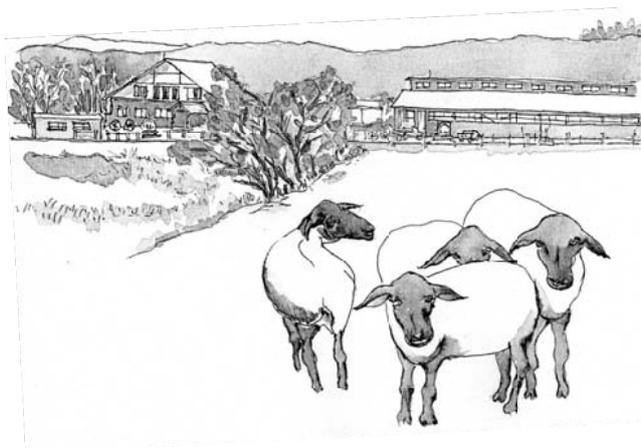
2008-2009年度国際ロータリーのテーマ



夢をかたちに
Make Dreams Real

2008—2009年度RI会長
季 東建

例会場／士別グランドホテル
例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
事務所／士別グランドホテル TEL (0165) 23-1234
会長／織戸 俊二
副会長／神田 英一
幹事／尾崎 学



しずお農場

百瀬達夫画

第2338回例会 2009年4月13(月)

今日のプログラム .. 普通例会 ・ 会員 (松塚信雄会員) 卓話

■ 前回 (4月6日) の記録 ■ ・ 普通例会 ・ 会員卓話 ・ 誕生祝い ・ 理事会

司 会	山口哲雄会場監督	
齊 唱	そ奉仕の理想	
本日の出席	出席率74.13% 会員58人中 出席者43人	
本日の欠席	井上建雄、岡田 晃、織戸俊二、小竹一男、汐川泰晴、鍋島 秀、野 英俊、日沼政和、 藤吉敏博、深尾幸雄、本山忠之、吉川紀雄、渡辺正一、加藤 博、志村孝幸	
メイクアップ		
ビクター		
ゲスト		
ニコニコBOX	尾崎 学、松塚信雄 (以上誕生祝い)	累計310.000円

例会予定

■ 4月例会日「ロータリー雑誌月間」

- 4月6日(月) 普通例会 (卓話) ・ 理事会
- 4月13日(月) 普通例会 (卓話)
- 4月20日(月) 普通例会
- 4月27日(月) 夜間例会

※19日(日) INTER CITY MEETING (中頓別)

※25日～26日 PETS・地区協議会 (旭川)

■ 5月例会日

- 5月4日(月) 特別休会 (法定休日・みどりの日)
- 5月11日(月) 普通例会 ・ 理事会
- 5月18日(月) 普通例会
- 5月25日(月) 夜間例会

※17日(日) 名寄RC創立50周年記念式典

※24日(日) 枝幸RC創立30周年記念式典

■会務報告 ————— 神田英一副会長

○5日、北朝鮮が人工衛星を搭載していると主張していた長距離弾道ミサイルを発射しました。このような暴挙が繰り返されないことを念じます。

○4月は雑誌月間です。国際ロータリー細則は全クラブ会員が「The Rotrian」か地域雑誌を講読することを義務づけています。1952（昭和27）年4月に開催された第60地区大会で新しい雑誌をつくることになりました。1972（昭和47）年1月号から左から開くと横組み、右から開くと縦組みの現在の形になりました。その後1年間の試験期間を経て、RI公式地域雑誌（ロータリー地域雑誌）になりました。

○今日から市内の小中学校の新入学です。交通安全週間が始まり、雪融けとともに車は走りやすくなりますのでスピードは控えめに交通安全に心がけてください。

■幹事報告 ————— 尾崎 学幹事

1. 第2分区IMに参加される会員には、行動予定表をお渡しいたします。なお、自家用車で行かれる方は幹事まで連絡下さい。

2. 名寄RC創立50周年記念式典と枝幸RC創立30周年記念式典の登録を本日と次回の例会にて行ないたい。参加希望者は申込書にお名前を記入して下さい。なお、登録料はそれぞれ10000円になっていますが本日の理事会にて自己負担分を決定しますので、金額は次回の例会にて報告します。

3. 釧路北RCより創立50周年記念式典の案内が届いております。日時は6月6日（土）となっております。参加希望者は幹事までお申込み下さい。

4. 士別市子ども会育成連絡協議会より5月24日（日）午前10時より士別市総合体育館前駐車場を会場に開催される「第13回しべつわんぱくフェスティバル」の後援のお願いが届いています。当クラブとしては昨年同様に協力して参りたいと考えています。

【受信文書】・中標津RCより創立50周年記念誌・名寄RCと美深RCより3月の会報と4月の例会案内・(社)士別市社会福祉協議会より溝淵会長の退任と山田新会長の就任の挨拶状・ロータリーの友・ガバナー月信の4月号

委員会報告

■社会奉仕委員会 ————— 野崎英男委員長

士別市交通安全運動推進委員会から交通事故死ゼロを目指す日ということで、4月10日午前10時から30分間、市内を中心に国道40号線で「人の波、並の旗」による街頭啓発を行います。

会員の皆様にはそれぞれの団体、立場で参加なさる方もいますが、ロータリークラスとしては団体では活動する予定はありませんが、会員の皆様のご協力をお願いします。

会員卓話

■プログラム委員会 ————— 菊地 博委員長

4月のRI月間は、ロータリー雑誌月間です。本日第一例会卓話は、当クラブ雑誌委員会福澤丹治委員長に、月間の意義について、お願いをしています。

なお、次週第二例会卓話は、私共プログラム委員会メンバーです松塚先生に健康管理についてと題して卓話をお願いしています。

■会員卓話 ————— 福澤丹治雑誌委員会委員長

毎年4月はロータリー雑誌月間です。ロータリーの友などの読者の関心を喚起し、購読と活用促進に役立つプログラムを行う月間と定められております。

ロータリーの友誌の機能とは、第一に国際ロータリー（RI）の基本方針と、その具体化であるRI会長の所信などを忠実に掲載伝達すること、第二に全日本としての一体感を持続するためにロータリーの情報を全員が共有することにあります。

「ロータリーの機関誌を読むこと」はロータリアンの三大義務の一つです。

「一体感を持続するためにロータリーの情報を共有する」こと、このために「友誌」を読み続けに行く必要が有ります。

「ロータリーの友」誌は、ロータリーの機関紙であり情報誌であって、広報誌ではありません。ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブが国際ロータリーと直結しているという確認のためにも必要な媒体であることを、今一度理解して頂く必要があります。

ロータリアンの知識の宝庫でもあり共有の宝物なのです。「友」誌が面白い、面白くないという発言を耳にしますが、ロータリー活動の視点から見直すのであれば、面白くないという発言にはならないものです。

ロータリーの状況や、ロータリー活動について日本全国のいや、全世界のロータリアンが情報や思いを共有しそれに加わっている人が、真のロータリークラスに属している人、即ち真のロータリアンだと言えることとなります。

4月の誕生日会員

